



— 膝の痛みでお悩みのみなさま —

～ 特集 ～

変形性膝関節症



膝の痛みを引き起こす病気のなかで最も多い病気が**変形性膝関節症**です。中高年の女性に多い病気で、痛みや腫れ機能障害を引き起こします。次第に関節の可動域（動かせる範囲）も制限されてしまうため、立ち上がりや正座、歩行が困難になります。そんな症状でお悩みの患者さまに、今回は当院の外来受診から手術・リハビリまでの流れについてご紹介します。当院は膝関節の手術において九州でも上位の症例数を誇ります。

1. 外来受診

- レントゲンなど検査し、痛み止めやヒアルロン酸注射、装具装着などを行い経過をみます。
- リハビリでは温熱療法の他に筋力アップを目指す指導を行います。体重コントロールも重要です。希望があれば食事指導も行います。
- 個人差はありますが3ヵ月ほど様子を見ながら、症状改善なければ手術などを検討します。

2. 手術決定（医師が患者様ごとに最適な手術方法をご提案します）

膝関節全体を人工関節にする
“全人工膝関節置換術(TKA)”

痛んだ部分のみを取り換える
“人工膝単顆置換術(UKA)”

若年者では骨を切ってO脚やX脚を矯正する
“骨切り術(OWDTO・DTO)”



3. 手術前検査

手術をするために採血など必要な検査を行います

4. 入院して翌日に手術

是非ご相談ください。



— 疑問にお答えいたします！ — 人工膝関節置換術後(TKA)のリハビリとは？



術後1日目



装具を付けて車椅子にてリハビリ室へ
手術した箇所の炎症や熱を抑えるため手術した箇所を冷やした後、平行棒内を歩きます。

術後2日目



1日目の内容に加え、痛みに応じて少しずつ手術した膝を曲げていきます。患者様ご自身で膝を曲げる自主訓練指導を実施します。膝の曲がりを獲得、歩行訓練を向上させるために関節可動域訓練や歩行訓練を行います。

術後3日目以降



午前午後1日2回リハビリが始まります。
歩行器や松葉杖などを使用し歩く練習をします。
歩行状態がよければ病棟内を自分で歩けるようになります。
手術後、約2週間で創部の被覆材を除去し、歩行を見て膝折れなどなければ装具を外します。

術後4週



T字杖、または手ぶらで歩けるようになって退院することを目標にリハビリを実施いたします。

退院後



外来リハビリへの通院、自主訓練を行うなどリハビリ継続していきます。仕事などの社会復帰は手術方法や経過により個人差がある為、その都度お尋ねください。

手術後は患者様ご自身で行う自主訓練が大切です。痛みに応じて理学療法士と一緒にリハビリを進めることで手術後は順調に回復していきます。



◀手術前

手術後▶



※病院のホームページより手術前後の動画も公開しています。
下記のQRコードより是非ご覧ください。



病院ホームページ
QRコード

「歩くことは、生活の質が変わる」
「歩くことがたのしい」
と患者さまに感じていただけるように
膝の痛みでお悩みの方はご相談下さい。

熊本市南区南高江6丁目2-24 TEL:096-357-3322

